

きたかたぐらし



豊かな自然と脈々と受け継がれる伝統・文化、そして、ラーメンをはじめとする食など、豊富な資源に恵まれたまち『喜多方市』

福島県の北西部、会津盆地の北部に位置し、盆地特有の気候により寒暖差が大きく、春夏秋冬がはつきりとしています。

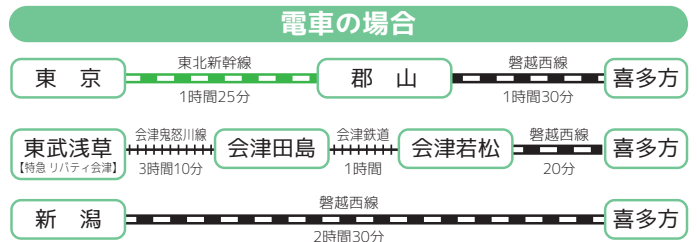
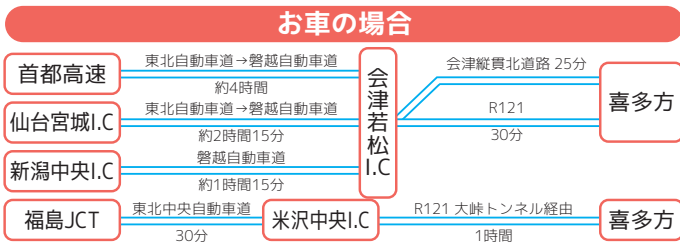
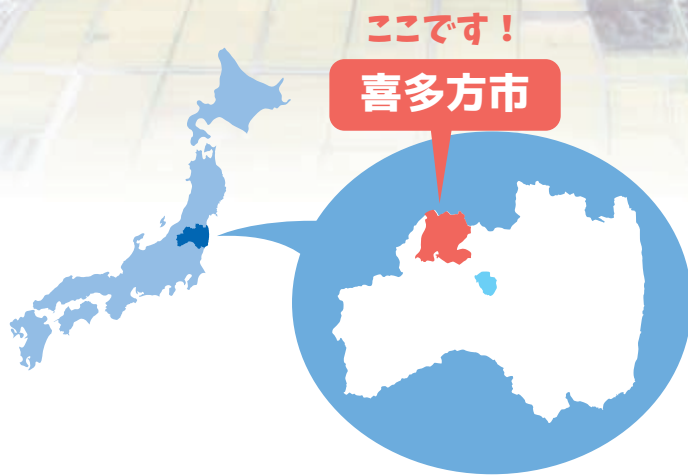
市の面積の約7割が山林で、東部・西部・北部の山々に抱かれています。

一方、中心部から南部にかけて平坦な地形で、市街地を囲むように田園地帯が広がります。

多くのお客様が訪れる観光地と農村集落の生活が共存しています。

都市と農山村の魅力を兼ね備えたこのまちで、『きたかたぐらし』を始めてみませんか？

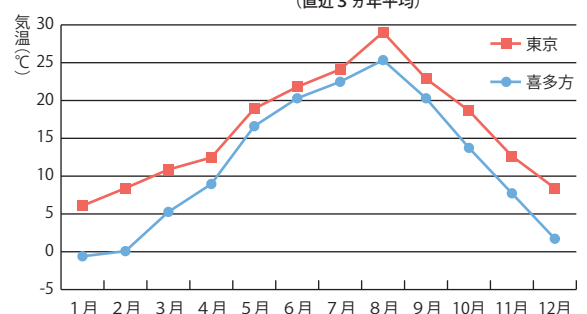
喜多方市へのアクセス



参考データ (令和4年1月時点)

- 人口** 44,029人 (令和4年1月1日現在)
- 面積** 554.63km²
- 保育機関** 認定こども園…11園 幼稚園……………2園
認可保育所……10園 小規模保育施設…7園
事業所内保育施設…1園
- 小中学校** 小学校…17校 中学校…7校

気候 東京・喜多方の月別平均気温 (直近3カ年平均)



きたかたぐらしQ&A



移住を考えはじめたけど、どんなことから準備したら良いですか？

Q

A まずは移住後にどのような生活をしたいのか考えてみましょう。



移住後の生活を考えることで、移住する目的や住む地域、暮らし方などが見えてきます。観光に来たり、グリーンツーリズム体験をしてみると、よりイメージがつかめることでしょう。

喜多方を知り、魅力を味わってみてください。



住むところはどのように探せばいいですか？

Q

A 空き家バンクや民間の不動産会社で探すことができます。



喜多方市では、売買や賃貸可能な空き家情報をHPにて「空き家バンク」として公開しています。また、民間の不動産会社には専門的な知識があり、アドバイスをもらいながら、物件情報を探すことができます。



買い物や通院に困ることはありませんか？

Q

A スーパーも病院も多数あります。



市街地にはスーパーやコンビニも多数あり、生活必需品は市内で揃う環境です。小児科や産婦人科も含め医療機関は20施設程度あります。市街地から離れた地域でも、車があれば大きな不便はないと思います。



いきなり移住するのは不安です。

Q

A 事前に暮らし目線で地域を訪れましょう。



観光で何度も訪れた地域でも、実際に住んでみると想像と違うことがあります。失敗しない移住をするためにも、お試し滞在や市の現地案内制度などを活用しながら、暮らし目線で地域を訪れてみましょう。また、まず賃貸住宅に住んでみて、本当に暮らしていけるかどうか見極めてから、物件の購入を検討していけば、よりミスマッチを防ぐことができるでしょう。



子育ての環境はどうですか？

Q

A 特色ある教育や新施設の完成で、充実しています！



小学校では農業を学び、子どもがより多く自然と触れ合うことができます。また、屋内子ども遊び場「めぐぶらざ」が新設されました。ほかにも子育て世帯への様々な支援があります。（詳しくは9ページをご覧ください。）



移住したらご近所へのあいさつ回りはどうすれば？

Q

A 近所の方にあいさつの範囲を聞いてみましょう。



戸建て住宅に住む場合、田舎では一般にご近所あいさつ回りは必要です。近所の方や地域の行政区（町内会）の役員さんにあいさつ回りをする範囲を相談してみるのが良いでしょう。

一方、アパートなど賃貸住宅に住む場合、あいさつ回りは不要とされることもあるので、不動産会社にご確認ください。



冬はどのくらい雪が降りますか？

Q

A 山に近い東部・西部・北部は多く、中央部から南部は比較的少ないです。



市街地と山間部では、1m以上積雪量が違う場所もあります。道路除雪は積雪15cmで出動します。一部の地域では、雪かきに加え屋根の雪下ろしが必要な場合もあります。冬の状態については、移住前に必ず確認してください。



地域になじむにはどうすればいいですか？

Q

A 地域の共同作業や行事に積極的に参加することで、より早く地域に溶け込むことができます。



都市部に比べ、地域の共同作業や行事が数多くあります。行政区（町内会）に加入し、各種共同作業（道路の草刈りや水路清掃など）に積極的に参加することで、地域との距離が近くなり、地域ぐるみでの助け合いにつながります。

年齢や地域によっては消防団に勧誘されることもあり、入団すると一気に人脈が広がります。

喜多方市の魅力を さくっと ご紹介

市内に
ラーメン店は
約100軒

ラーメン

喜多方といえばやっぱり
ラーメン！
早朝から開店している
店もあり“朝ラー”が
楽しめます。



そば

ラーメンだけではなく、
そばも美味しい喜多方市。
そばの作付面積は本州1位！
ぜひ手打ちそばを味わって
みてください。



日本酒

市内には11の酒蔵！
飯豊山の伏流水で仕込まれた喜多方の
地酒は絶品。
全国新酒鑑評会や福島県の鑑評会、
世界的なコンテストでも多数の賞を
受賞しています。



蔵の湯

道の駅併設の温泉施設。
所在地／喜多方市松山町鳥見山字三町歩5598-1
時間／9:00～17:00／17:00～21:00
(第1水曜定休)
料金／大人500円／300円
子供300円／150円



熱塩・日中温泉

熱塩温泉

開湯600年。塩分が強く、源泉は68度。
別名「子宝の湯」。

日中温泉

鉄分を多く含むぬるめの湯。
100%源泉かけ流しで体の芯から温まる。

温泉でゆったり

花でもてなす喜多方



日中線しだれ桜並木

開花時期／4月中旬～下旬
 所在地／喜多方市字
 押切東二丁目ほか
 協力金／あり
 駐車場／あり約700台



長床の大イチョウ

見頃／11月中旬～下旬
 所在地／喜多方市慶徳町
 新宮字熊野2258
 入場料／あり
 駐車場／あり



三ノ倉高原ひまわり畑

開花時期／8月中旬～下旬
 所在地／喜多方市熱塩加納町相田
 字北権現森甲857-6
 協力金／あり
 駐車場／あり 750台



ふれあいランド高郷

露天風呂、泡風呂、薬草風呂、うたせ湯、サウナなど豊富。
 所在地／喜多方市高郷町揚津字袖山甲3054-9
 時間／9:00～17:00／17:00～21:00
 (火曜定休)
 料金／大人500円／300円
 子供300円／150円



いいでのゆ

塩分、鉄分を多く含む茶褐色の温泉。
 そば粉100%の山都そばも食べられる。
 所在地／喜多方市山都町一ノ木字越戸乙3876-4
 時間／9:00～17:00／17:00～21:00
 (11月～3月は20:00まで)(第2月曜定休)
 料金／大人500円／300円
 子供300円／150円



夢の森

美肌成分を多く含む美肌の湯。
 所在地／喜多方市熱塩加納町米岡字下平乙609
 時間／9:00～21:00 (月曜定休)
 料金／大人300円
 子供200円

きたかたぐらし 体験談

Interview 1

神奈川県

U・Iターン

小林 俊吾さん
真菜美さん

俊吾さん（喜多市出身）
真菜美さん（神奈川県出身）
大学の軽音楽サークルの先輩・後輩として出会い、結婚。神奈川県からお子さん二人と共に俊吾さんの地元喜多方に移り住む。俊吾さんは大阪の会社に在籍しテレワーク。真菜美さんは市内IT企業に勤務。



のびのび自然と触れ合える 帰ってきてきて良かった

「いつか帰る」から 「若いうちに帰る」に

神奈川県内の大学で知り合ったお二人は、結婚後も神奈川県で暮らしていました。「いずれは帰ってこようっていうのはあったんですよ」と俊吾さんが話すように、定年を迎えてから夫婦で喜多方に移ることを漠然と考えていました。二人のお子さんにも恵まれ、俊吾さんは医療用品の営業、真菜美さんはアパレルブランドに勤務していました。

そんな生活を送っていたところ、俊吾さんのご両親からもっと早く帰ってきてほしいと呼びかけがあったことをきっかけに、若いうちにUターンしようと考えてようになりました。

テレワークで在宅で働く 地元企業で働く

移住に向けて計画的に準備を進めるお二人は、神奈川県で働きながら、喜多方での仕事を探します。

俊吾さんはなかなか希望にあう仕事が見つからない中、「テレワークだったらこっちに来てても仕事ができる」と、在宅で働けるマーケティングコンサルタントの求人を見つけ、見事転職に成功。コロナ禍をきっかけに完全テレワークに移行した大阪

の会社でした。同僚とはほとんど直接会ったこともなく、連日ウェブ会議をこなすという今の時代を象徴するような働き方をしています。



一方、真菜美さんは、知り合いも少ない土地で「人間関係が構築できないように」と地元企業で働くことを考えました。そこで喜多方の義母から紹介されたのが、たまたま市の広報紙に求人広告が載っていた市内のIT企業でした。「前職のアパレルでもEC（電子商取引）などITに関わる分野に興味があつて、新しい挑戦がしたいと思いました」と未経験のIT業界に飛び込みました。

こうして令和2年、ご夫婦が30代前半のとき、4人家族は喜多方に移りました。

喜多方には 優しい人が多い

テレワークの仕事を持ったまま移住したので「住む場所が変わっただ

けというイメージで安定していますね」と話す俊吾さん。最近『転職なき移住』ともいわれるケースです。真菜美さんも「U・Iターン者の受入にも積極的な会社で働きやすいです。喜多方の人は最初はシャイだけど、仲良くなるとおらかで優しい人が多いですね」とすっかり溶け込んでいます。

移住してからは、都会でなかなかできなかった家族でのキャンプにはまっています。3歳と6歳のお子さんは、虫や花が大好き。

「子供も連れてのびのびと自然と触れ合えるようになったのは帰ってきて良かったところですね」と話すお二人。家族みんなで『きたかたぐらし』を満喫しています。



顔の見える商売がある

喜多方のまちが好き

震災をきっかけに

喜多方とつながる

地元上田市の高校卒業後、福島大学に進学。大学在学中には東日本大震災を経験し、復興ボランティアに取り組みました。喜多方とのつながりはそんな中で訪れます。

「県内各地の被災現場の現状を自分の目で見るようなスタディーツアーに参加したんです」

そこで喜多方のことを話してくれたのが、地元のNPOの方でした。この出会いが石島さんと喜多方をつないでくれました。

その後、新卒で大手住宅メーカーに就職し県外で働いていましたが、大企業の論理から離れて「目の前の人に幸せだと思ってもらえるような仕事がしたい」と退職。

大好きな福島にまた戻りたいと考えていると、喜多方のNPOとのつながりを思い出します。連絡するととんとん拍子にNPOへの就職が決まり、喜多方に移住することになりました。



地域おこし協力隊

そして起業へ

NPOでは創業支援などを担当していましたが、いずれは起業したいと考えていたのもありフリーランスに転身。県外で活動後、縁あって喜多方市地域おこし協力隊に応募し、市内高郷町の地域振興を担当することになります。フットパス（地域のありのままの風景を楽しめる小道）のコースを住民と一緒に作ったり、新たにザーサイの栽培を始めるなど、高郷町の活性化に貢献。農村での暮らしから学ぶことは多かったといえます。

当時から、独立を見据えた副業として、学習塾と子供向けキャンペーンの運営を手掛けていました。3年間の地域おこし協力隊任期満了後、それらの事業を発展させる形でNPO法人かけはしを設立しました。「自分が本当にいいと思えるもの自信をもって届けられるっていうのは、やっぱりいいなって思いますね」と起業に手応えを感じています。

コロナ禍をきっかけに学習塾はオンラインに対応し、地元だけでなく県外の子供たちも学んでいます。人口の少ない地方ではマーケットが小

さくなってしまつところを、柔軟な発想で新たな顧客を取り込んでいて、地方移住と起業の可能性を示してくれています。

喜多方に恩返しをしたい

大企業が少ないがゆえに、顔が見える小さい商売でまわっている喜多方のまちが好きだという石島さん。「喜多方の人達に良くしてもらったので、その恩を返したいっていうのがありますね」と、感謝の思いを語ります。

今後の目標を伺うと「自分が生きていきたいなって思えるまちにしたいです」

熱い起業家石島さん、高い志で喜多方の今とこれからを盛り上げてくれる存在になっています。

Interview 2

長野県
▼
1ターン

石島 来太さん

長野県上田市出身。NPO法人かけはし代表理事。福島大学への進学を機に来県。その後、大手住宅メーカーやNPO法人勤務などを経て、喜多方市地域おこし協力隊となり、任期終了時にNPO法人かけはしを設立。好物はこづゆと市内高郷町の雷神そば。趣味は薪割り。

NPO法人かけはし
公式ホームページ



Interview 3

郡山市

1ター

丸山 友也さん

福島県郡山市出身。水稲・繁殖牛農家。郡山の高校卒業後、進学・就職のため首都圏で過ごす。その後、郡山に戻り働いていた時、喜多方出身の千紘さんとの出会い、結婚を機に喜多方に移り住む。千紘さんの実家が農業を営んでいたことから、親元就農し農家に。



移住のきっかけは結婚

父親の転勤の都合で福島県内各地を転々とした子供時代の丸山さん。中学校から高校まで過ごした郡山市が一番長く過ごした土地でした。その後、進学や就職のため首都圏で過ごした時期もありましたが、20代半ばからは郡山に戻り働いていました。そこで同僚として知り合ったのが、後に結婚する喜多方出身の千紘さんでした。千紘さんの希望もあり、結婚後は喜多方の実家に移り住むことになりました。

それまでは比較的都市部で生活してきた丸山さんにとって、農村での暮らしは初めてでした。「不安半分以上、消防団や地区の共同作業も当たり前に参加している丸山さん。「仕事以外のことがこんなにいっぱいあると思わなかった」と笑います。



「面白い」農業は楽しいじゃない、 喜多方の夜は星がきれい

農業の道を歩むことに

喜多方での新しい仕事を考えたとき、せっかく義父が農業をやっているのに「継がなかったら終わってしまう」と思い、就農することを決めます。公的機関に就農相談をして、支援制度を活用しながら、近隣の農業法人で水稲の生産を1年間学習しました。

そして、義父とともに実家の農業経営に携わって3年になり、もともと6畝ほどだった水稲の経営規模を10畝にまで拡大しています。しかも丸山さんの作るお米は、全て農業・化学肥料の使用を一定水準まで減らした「特別栽培米」です。

「やっぱりこっちにきてから食べられるお米はうまいですよ。あと妻が家庭菜園で作る野菜も良いですね」と喜多方産の農産物のおいしさからついつい食べ過ぎてしまうことも。

「農業は決して楽しいことばかりじゃないから、表現としては『面白い』かな。まだまだ色々うまくいかないこともあるけどそれも含めて面白い」と農業の奥深さを実感しています。

「夜、すごく星がきれいなんです。誰も気にしてないんですけどね(笑)」と、もともと喜多方市民ではなかなか気が付かない喜多方の良さを見つけています。

農繁期となる春から秋までは大忙しで、なかなか家族とゆっくり過ごせない生活が続きます。それでも、サラリーマン時代の夜型の働き方を考えると「今みたいに家族で夕飯を食べるような生活はできなかったかな」と思うことも。

一児の父として、忙しさの中にも幸せを感じる日々。いずれは、農業経営の規模をますます拡大していくことが目標です。



子育て世代も安心！子どもがわくわくできるまち喜多方



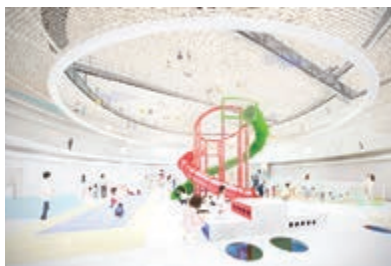
ひとづくり・
交流拠点複合施設
「アイデミきたがた」

地域の子育て支援のシンボル施設として、子どもの健康づくりや保護者同士の交流を促進します。子育てに寄り添う様々な機能が備わっていますので、是非ご利用ください。

【住所】喜多方市字稲清水2333番地1

みんなアイデミ！

(アイデミ…会津の方言で「一緒に」行こうの意味です。)



屋内子ども遊び場「めぐぷらざ」 ☎ 0241-23-6101

開所時間：午前10時～午後4時30分 定休：第2、第4火曜日、
年末年始（12/29～1/3）

子どもの健康と想像力を養う“わくわく”する子どもの遊び場です。3層吹き抜けのダイナミックな空間や、プレイリーダーと一緒に子どもの成長に必要な動作を引き出す仕掛けをたくさん盛り込み、楽しみながら子どもの健康・体力向上に繋がります。

きたがた子育て・サポートセンター ☎ 0241-22-5577

子どもたちの遊びや保護者の交流の場としてご利用いただけるほか、次の事業を行っています。

【ファミリーサポート事業】

研修を受けた有償のボランティアがサポーターとなり、児童（概ね6か月から6年生まで）を一時的に自宅でお預かりする活動です。

【ホームスタート事業】

6歳未満の児童のいる家庭に研修を受けたボランティアが訪問し、一緒に家事や育児をしたり、話をしながら過ごす家庭訪問型の子育て支援です。



小学校農業科

「総合的な学習の時間」に、市内すべての小学校で農作業の実体験活動を重視した「農業科」の学習をしています。地域の基幹産業である農業について学び、田んぼや畑での作業、収穫して食べる体験を通じて、子どもたちの健やかな成長につながります。

様々な賞を受賞したり、メディアに何度も取り上げられるなど、高い評価を受けている取組です。



食育に力を入れています！

地産地消を推進しており、小中学校の学校給食では地元農産物を多く使用しています。この取組は地域の生産者の協力があることであり、子どもたちの「感謝の心」や「郷土愛」を育てています。

給食の汁椀は喜多方市特産の「漆器」を使用。おいしい給食に華を添えています。

こだわりの給食



子育て支援制度

子ども医療費助成

18歳までの児童が入院及び外来（薬局含む）の保険診療を受けた場合の一部負担金と入院時の食事代について助成します。

こども課子育て支援班 ☎ 0241-24-5229

学校給食費負担軽減事業

子育て世代の経済負担軽減のため、小・中学校における学校給食費の一部を支援しています。

学校教育課管理・指導班 ☎ 0241-24-5314

チャイルドシート等購入費助成事業

チャイルドシートなどの購入者に対し、購入価格の2分の1を助成します。（上限1万円）

危機管理課危機管理室 ☎ 0241-24-5221

ファミリーサポートセンター利用者助成

未就学児のファミリーサポートセンター利用料金の一部を助成します。

こども課子育て支援班 ☎ 0241-24-5229

お役立ち！各種支援制度のご紹介

最新情報や詳細はお気軽にお問い合わせください。

移住相談

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

喜多方の暮らしや各種支援制度に関する全般的な相談をワンストップで受け付けています。首都圏での移住イベントへの出展のほか、電話やメール、オンラインでも相談を承ります。

いつでも喜多方暮らし体験ツアー

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

移住希望者が暮らし目線で現地訪問できるよう、市の担当者が市内をご案内しています。日程や内容はご要望に応じて対応します。

移住希望者お試し滞在支援事業補助金

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

移住希望者が宿泊を伴う現地訪問や住居・仕事探しなどを行った場合に、宿泊費の一部を補助します。

情報収集・
現地訪問

福島県の支援

首都圏の相談窓口 「福が満開、福島暮らし情報センター」

NPO法人ふるさと回帰支援センター内
福が満開、福島暮らし情報センター

福島県が都内に開設している、
移住及びUターン就職に関する
相談窓口です。



ふくしま移住希望者 支援交通費補助金

福島県への移住を考えている方
が、実際に県内を訪れ、移住に当
たって必要な現地活動を行った場
合に、その交通費の一部を補助し
ます。



詳しくは、「ふくしまぐらし。」
HPをご覧ください。

福島県の情報発信 「ふくしまぐらし。」

福島県移住ポータルサイト
<https://www.fukushima-iju.jp/>



東京圏にお住まいの方限定

移住支援事業補助金

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

東京23区に所定の期間、在住している方や通勤している方が移住し、就業や起業等の要件を満たした場合、支援金を交付します。

空き家改修支援事業補助金

都市整備課建築景観係 ☎ 0241-24-5267

喜多方市空き家バンクを通じて購入または賃借した住宅の改修費用を補助します。

浄化槽設置費補助

下水道課総務係 ☎ 0241-24-5250

合併処理浄化槽への転換を促進するため、設置費への補助や工事資金の融資あっせん（利子補給）を行っています。

住宅用再生可能エネルギー設備等設置費補助金

市民生活課環境政策推進室 ☎ 0241-24-5208

居住する住宅に再生可能エネルギー設備等を設置した方を対象に、対象となる設備等に応じて補助します。



喜多方市役所本庁舎

新規就農者経営確立支援事業

農業振興課経営企画係 ☎ 0241-24-5235

住宅や農地の賃貸料、小農具等の整備、空き家改修等への支援など、就農準備段階から経営開始段階まで丁寧にサポートします。

喜多方市創業支援センター

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

創業を希望する方を対象に、創業に関する総合相談窓口を設置しています。補助制度の案内や空き店舗探し、セミナー開催など、総合的なサポートを行います。

創業スタートアップ支援事業

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

新規創業者等が空き店舗を活用して起業・創業する際の「改装費」または「家賃」の一部を補助します。

あきない賑わい創出事業

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

中心市街地等の空き店舗を活用して開業する際の「改装費」または「家賃」の一部を補助します。

奨学金償還支援事業

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

大学等の在学学生、卒業生（30歳未満）で、市内に定住見込みかつ市内事業所等に就職し継続して勤務する見込みの方を対象に、奨学金の償還を支援します。

喜多方市雇用相談センター

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

求人情報の提供や就職活動支援などにより、喜多方で働きたい方を応援します。

ハローワークインターネットサービスの利用もオススメ！

求職者向け企業情報検索サイト きたかた・わくワーク

商工課商工業・雇用・創業支援室 ☎ 0241-24-5233

YouTube動画による仕事の内容や職場の雰囲気、先輩社員の声など、市内企業の魅力を求職者の皆様にお届けしています。



住まい

喜多方市空き家バンク

都市整備課建築景観係 ☎ 0241-24-5267

市内の空き家情報を募り、空き家の購入や賃借を考えている方に情報を提供しています。

移住者住宅取得支援事業補助金

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

市内に住所を移し、住宅を取得する方を対象に、住宅取得費用の一部を補助します。

多世代同居住宅取得支援事業補助金

地域振興課きたかたぐらし推進室 ☎ 0241-24-5306

市内で住宅を取得し、親世代と多世代同居する方を対象に、住宅取得費用の一部を補助します。



◆喜多方市移住・定住ポータルサイト
『きたかたぐらし』

移住に関する情報収集はまずここからどうぞ！

<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/>



◆インスタグラム【公式】きたかたぐらし推進室

喜多方市の暮らしや魅力を発信しています！

アカウントID：kitakatagurashi



相談窓口



喜多方市
地域振興課

☎ 0241-24-5306

福島県喜多方市字御清水東7244番地2

首都圏での相談先

福が満開、福しま暮らし情報センター ☎ 03-6551-2989

東京交通会館8階 NPO法人ふるさと回帰支援センター内（東京都千代田区有楽町2-10-1）

時間 10:00~18:00 / 休業日 月曜日・祝日・夏季休業・冬季休業